

「東芝破綻」も「待機児童問題」も「低生産性」も「忖度」も  
高橋教授が本気で答える日本をめぐる 55 のウソ、ホント!!  
『「日経新聞」には絶対に載らない 日本の大正解』

まさかの日経新聞広告掲載で早くも話題!!

(著者)高橋洋一

〈価格〉1,300 円＋税 〈発売日〉2017 年 6 月 16 日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2017 年 6 月 16 日に『「日経新聞」には絶対に載らない 日本の大正解』を発売いたしました。

## ◎本書の概要

ベストセラーを連発している元財務官僚で嘉悦大学教授の高橋洋一氏が、日本の政治経済の問題から身近な疑問に至るまで、55 のウソ、ホントを小気味よく一刀両断していく、発売前からツイッターで話題となっている最新作の登場です。

本書の特徴は、読みやすさを重視し、どのトピックも 2or4 ページの見開き展開になっていること。しかも 1 ページ目で「教授への Question」と「教授の Answer」を対比させ、最後のページにある「教授のダメ押し!」でまとめているので、ひとつひとつの疑問に対する答えが非常にわかりやすくなっています。

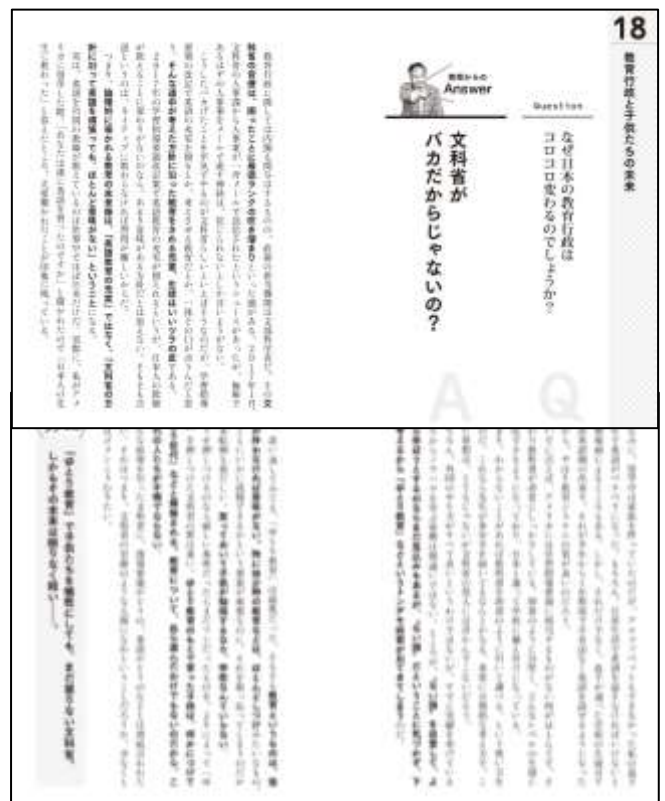
また、これまでの著作とは違い、「シェアリングエコノミー」「待機児童問題」や「チケット転売」など、より身近なテーマが多く盛り込まれています。普段、疑問に思っても今さら聞けないことに対して、著者がちょっと暴走気味に答えているので、まるでテレビやラジオ番組のようなエンタメ性も感じられる、これまでにない日本分析本となっています。なお、このようなタイトルでありながら 6 月 18 日(日)、22 日(木)の日経新聞に広告が掲載されたのも話題となっています。



## ◎本書に登場する主なウソ、ホント

- 「日経新聞の正しい読み方」
- 「少子化と経済成長の関係」
- 「年金破綻のリアリティ」
- 「シェアリングエコノミーの役割」
- 「東芝危機のターニングポイント」
- 「安心と安全の違い」
- 「値上げと賃上げの関係性」
- 「低生産性と長時間労働」
- 「待機児童問題の本質」
- 「老後資金の適正額」
- 「イデオロギーと忖度」
- 「AI と仕事の変化」 etc.

## ◎日本の大正解の一例



Q「日本経済の低成長は、やっぱり少子化が原因なのでは？」

A「それを証明するデータなし！ 以上！」→P20

Q「なぜ日本の教育行政はコロコロ変わるのでしょうか？」

A「文科省がバカだからじゃないの？」→P80

Q「あの東芝がまさかのピンチで、非常に驚いているのですが？」

A「今さら？ 2年以上前からこのままではヤバいって言い続けてきたんだけど」→P128

## ◎本書の目次

第1章 日本経済のウソ、ホント

第2章 政治と官僚のウソ、ホント

第3章 ビジネスモデルのウソ、ホント

第4章 働き方・生き方のウソ、ホント

第5章 私たちの将来のウソ、ホント

## ◎著者

高橋洋一（たかはし・よういち）

株式会社政策工房代表取締役会長、嘉悦大学教授。1955年、東京都生まれ。都立小石川高等学校（現・都立小石川中等教育学校）を経て、東京大学理学部数学科・経済学部経済学科卒業。博士（政策研究）。1980年に大蔵省（現・財務省）入省。大蔵省理財局資金企画室長、プリンストン大学客員研究員、内閣府参事官（経済財政諮問会議特命室）、内閣参事官（首相官邸）等を歴任。小泉内閣・第一次安倍内閣ではブレーンとして活躍。2008年、『さらば財務省』（講談社）で第17回山本七平賞受賞。『“まやかしの株式上場”で国民を欺く 日本郵政という大罪』（ビジネス社）、『「年金問題」は嘘ばかり』（PHP研究所）、『勇敢な日本経済論』（共著、講談社）、『なぜ日本だけがこの理不尽な世界で勝者になれるのか』（KADOKAWA）など著書多数。

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603